

保護者からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成31年3月1日 事業所名 多機能型事業所デイサービスセンターはっこう 保護者等数(児童数)6 回収数6 割合100%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない/無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	0	0	0	広くて満足している。	
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	6	0	0	0	職員の方は丁寧な対応をして下さるので満足している。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	0	0	0	満足している。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	0	0	0	満足している。	
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	4	2	0	0	月1~2回の活動なので適切かどうかはわからない。	保護者とよく話し合っって計画を作成する。計画は丁寧に説明し、同意を得る。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	2	0	0	月1~2回の活動なので適切かどうかはわからない。	保護者とよく話し合っって計画を作成する。計画は丁寧に説明し、同意を得る。
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	1	0	1	月1~2回の活動なので適切かどうかはわからない。	計画に沿った支援を行い、保護者に説明をする。
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	4	2	0	0	だいたい毎回同じ内容だが、そのおかげで成長の具合がわかりやすくて良い。	今後も制作活動などを加えていく。
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	2	0	0		保育園等との交流はないが、親子療育参加者のご兄弟の受け入れを継続していく。施設の行事(夏祭り等)へのご案内を継続する。
保護者への説明等	⑩ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6	0	0	0		
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか	6	0	0	0		
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	4	2	0	0		親子参加型の親子療育で家族支援を実施している。当事業所では現在ペア・トレを行っていないが、関係機関の情報を提供している。
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	5	1	0	0		
	⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	1	0	0		
	⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の連携が支援されているか	4	2	0	0		茶話会等を検討する。
	⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	5	1	0	0		
⑰ 子どもや保護者との意志の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5	1	0	0			

	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2	3	0	1		年3回広報誌を発行している。29年度の自己評価の結果は30年6月発行の広報誌に載せており、ホームページでの閲覧も可能である。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	5	0	0	1		
非常時等の対応	⑳	緊急時対策マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	3	2	0	1		保護者向けのマニュアルを作成し配布する。
	㉑	非常災害等の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	3	0	1		毎月訓練の計画を立て実施する。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	4	1	0	1		毎回とても楽しみにしている。苦手なことも自分から挑戦する力が身に付いてきた。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	5	0	0	1		日常生活での着替えや食事などの向上も図れるため満足している。サーキット運動ができるスペースがあり体を動かす活動が魅力的だ。

(注釈)

i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

(保護者の皆様へ)

○ この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。